



甲子園の出発を前に抱負を語る川上主将(手前中央) 11日午前

センバツ以上の成績を

光星ナイン壮行式で抱負

第93回全国高校野球選手権青森大会を制し、8年ぶりの夏の甲子園出場を決めた光星学院ナインの壮行式が1日、八戸市の同校体育館で開かれた。全校生徒と教職員ら千人以上が集まり、春夏連続で甲子園出場するナインにエールを送った。

仲井宗基監督、優勝旗を手にした川上竜平主将を先頭に選手が入場。仲井監督は「春に続いて甲子園に出場できることになった。甲子園でははつらつと元気にプレーし、一戦必勝で頑張りたい」とあ

GOウェブ 動画

いさつ。選手一人一人も抱負を述べ、川上主将は「センバツ以上の成績を残せるよう頑張る」と力を込めた。

法官新一校長は「落ち着きと技量のあるチーム。八戸で培った力を存分に発揮してほしい」と激励。チャアリー

デインク部がエールを送り、全校生徒が拍手でナインを送り出した。

壮行式終了後、J A全農あおもり(藤村義美原本部長)は、つがるロマン、リンゴジュース、ナガイモなど県産品を贈った。ナインは同日正午すぎ、教職員らに見送られバスで学校を出発。新幹線で大阪に向かい、同日夜に到着する。(八島佳奈子)